

## 14 水源の森応援隊

【期 日】 令和元年 9 月 28 日（土）10：30～14：00

【会 場】 王滝村 松原スポーツ公園

【内 容】 以下のとおり

森林整備協定を締結している愛知中部水道企業団との交流事業の一環として、「水源の森応援隊」が開催されました。今回は企業団管内 4 市 1 町（日進市、豊明市、みよし市、長久手市、東郷町）の一般住民 64 人（子供なし）、同水道工事組合 32 人、企業団職員 11 人の合計 107 人、上流域スタッフは 19 人（瀬戸副連合長・王滝村長、王滝村 2 人、実行委員 13 人、広域連合 3 人）の合計 126 人が参加しました。

当初は王滝村九蔵の村有林において除伐作業を予定していましたが、8 月に村有林付近の路上で豚コレラウイルスに感染したイノシシの死骸が発見されたため、会場を松原スポーツ公園に変更して実施したものです。

10 時 30 分より開会式典を行い、愛知中部水道企業団小島次長と瀬戸副連合長・王滝村長からそれぞれご挨拶いただき、参加者の皆様へ森林整備協定に基づく「1 トン 1 円」の基金を活用し木曽地域の森林整備が行われていることなどをお話いただきました。

式典後は、体験教室として王滝村に移住した倉橋様の指導により「藍染め体験」の前段作業を行いました。無地の手ぬぐいに輪ゴムや割り箸を使って「絞り」を作ります。参加者の皆さんは、出来上がりを想像しながら思い思いの形に手ぬぐいを絞っていきます。できあがったら倉橋様が育てた藍から作った染料に漬け込んでいきますが、着色に時間がかかるためここで体験教室をいったん打ち切り、除伐作業に移りました。

今回は、平成 28～29 年度に一度除伐を行った場所（公園下の土手）で再度除伐を行う形となりました。3 年ほどしかたっていないませんが、前回切ることができなかった松や新たに成長した灌木に覆われており、参加者は 4 つの班に分かれて 1 時間程作業を行いました。一部の場所は草が多かったため鎌を使用したところもありましたが、参加者にはリピーターも多く、上流スタッフの指導のもとスムーズに作業を進めていただきました。中には予定時刻よりも早く割り当て場所を終了した班もありました。

12 時 30 分に作業を終了し、昼食を取りました。今回も地元の「おんたけ朝市」様のご協力により豚汁をご提供いただいたほか、野菜の販売も行っていただきました。今年は雨量が少なく、きのこがほとんど取れていないようで、下流からの参加者も残念そうでした。

13 時 30 分からは体験教室を再開し、染料に付け込んだ手ぬぐいを取り出し、輪ゴムや割り箸などの絞りをほどいて、模様を確認してみました。出来上がった模様はどれもきれいに仕上がっていて、参加者の皆さんは記念撮影するなどして大変喜ばれていました。

その後、閉会式典において木曽地域振興局林務課の上野係長から本日の講評をいただき、14 時に下流域へ向けて出発されました。



企業団 小島次長あいさつ



瀬戸副連合長・玉滝村長あいさつ



当日の参加者



体験教室前半全景



体験教室前半（布を絞る作業）



藍染めの説明を聴く参加者



除伐作業 1



除伐作業 2



除伐後の土手



体験教室後半 1



体験教室後半 2 (染まった手ぬぐいを拭げる)



バス乗降口に消毒槽を設置